

楽しい小学校生活に向けて

幼児期から学童期へ、子どもたちの学びと育ちをスムーズにつなぐためには、保育所・幼稚園・認定こども園と小学校・義務教育学校、そして家庭との連携・協力が必要です。

つなげよう！
子どもたちの
育ちと学びを

取り組みのポイント

子どもたちの学びや育ちには、個人差があります。また、子どもたちの学びや育ちには、大人が思っている以上に時間がかかるとともに、失敗もたくさんあります。そこで、

- ① 一つひとつの体験を貴重な成長の場と捉え、子どもたちの「やってみよう」という気持ちを認めながら取り組んでみてください。
- ② あれもこれもと急かしたり、「できている」「できていない」で一喜一憂したりするのではなく、子どもたちの「がんばり」を励ましながら取り組んでみてください。

子どもの権利を守るための保護者の役割

- 愛情をもって、子どもの成長・発達に応じた養育をしましょう
- 子どもの年齢に応じた心身の発達に関する知識や養育について習得するように努めましょう
- 子どもが基本的な生活習慣や社会性を身につけるよう務めましょう
- 虐待・体罰などの子どもの権利を侵害することをしてはけません
- 子どもの発達に有害なものから子どもを保護しましょう
- 子どもの個性に応じ、教育を受けさせるとともに、文化、芸術やスポーツに接する機会をつくるよう務めましょう

幼児期の終わりにまで 育ててほしい姿

自立心



健康な
心と体

道徳性・
規範意識の
芽生え

協同性

自然との
関わり・
生命尊重

思考力の
芽生え



数量や図形、
標識や文字
などへの
関心・感覚

豊かな
感性と表現

言葉による
伝え合い

社会生活との
関わり

QRコード

(注)来年度から施行される第4期幼児教育振興プログラムの目指す幼児像に合わせて、目標を変更しています。

基本的な生活習慣を身に付け、健康で安全な生活をつくり出す力を育てる

外遊び



・自然物(草、花、木、砂、水など)を使って遊ぶ
・体を動かして遊ぶ

手洗い・トイレ



・手洗い、うがいをする
・排泄を自分でする

睡眠



・決められた時間に起きる
・十分な睡眠をとる

あいさつ・返事



・「おはよう」「おやすみ」など、挨拶をする
・「はい」と返事をする

食事



・時間を意識して食べる
・食卓で楽しく食べる

着脱



・衣服の着脱や調節を自分でする
・脱いだ衣服・靴を整える

心地よさを感じながら取り組むことを通して、規則正しく生活する習慣が育っていきます。安全な環境のもと、やり方を伝え、応援したりほめたりしながら見守っていきましょう。また、外遊びを通して、運動好きになる傾向があります。全身を使って遊んだり、自然に触れたりする機会をつくりましょう。

言葉によって伝え合う力、感じたことや考えたことを自分なりに表現する力を育てる

きく



・読み聞かせや音楽を
楽しむ
・最後まで聞く

伝える



・身の回りの出来事を伝える
・気持ち(うれしい、かなしい)を伝える

表現する



・描いたり、つくったりすることを楽しむ
・歌ったり楽器を演奏したりすることを
楽しむ

道具を使う



・正しい方法で使う
・必要な道具を選んで活動する

数量や図形、文字
などへの関心



・数量や図形、文字などで表す
ことを楽しむ
・文字に気づき、意味を考える

試行錯誤



・新しい事を考える
・あきらめずに取り組む

五感を使った豊かな体験を通して、知っていることやできることが増え、それらを使って考え、試し、工夫し、表現する力が伸び、よりよくなっていくようになります。人やものとの直接関わる機会や具体的なものを使って遊ぶ機会をつくりましょう。

身近な環境に親しみ、自分、自然を大切にすることを育てる

好奇心



・やってみようとする
・知りたいことを知るようする

正直・素直



・感謝の気持ちや反省の
思いを伝える

思いやり



・相手の気持ちに共感する
・相手の気持ちを考え、
行動する

いのち



・動植物に親しむをもつ
・命の大切さに気づき、
大切に

自律



・ルールや約束、
マナーを守る

自立



・自分でできることは自分で
・自分で決めて行動する

人と関わることで、対人関係の基礎を学び豊かな感情が育ちます。多様な人々(家族、友達、先生、地域の人々など)と、遊んだりふれ合ったりする機会をつくりましょう。また、体験を積み重ねていく中で、自信を深め自分のよさに気づいていくようになります。役割をやり遂げたり、興味のあることに挑戦したりする機会をつくりましょう。